

## 第 1 回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会における主な意見等

項目		会議	意見・質問等	推進計画への反映	
河川下水道対策	河川下水道整備	第 1 回協議会	水田が住宅地に開発されて流出量が増加して浸水被害が発生している。こうした対策として、県道下等に地下河川を整備などはどうか。(市町委員)	反映済	2-3 基本目標に、雨水の流出を抑制することを目標として、各地区の特性に応じた流域対策を推進することを記載(済)
流域対策	校庭貯留施設・ため池について	第 1 回協議会	ため池関連事業を実施しているが、その事業の中で既に治水のための容量が確保されているか確認したい。(県民委員)	回答	基本的にはため池の改修であり容量アップしているわけではない旨を委員に回答
		第 1 回協議会	総合治水推進計画は、目標期間が 10 年と河川整備計画の 30 年と比較して短くなっている。よって、校庭貯留施設やため池等の施設整備を推進し、短期間に治水効果を発現する必要があると感じている。(会長)	反映済	2-3 基本目標に、河川下水道対策は本計画の計画期間で実施し得る整備を着実に進め、さらに流域対策を推進することを記載(済)
	森林の保全について	第 1 回協議会	神河町としては、森林を保全するため、独自の事業で間伐を行う予定である。(市町委員)	修文	5-6 森林の整備及び保全に、 <u>神河町独自事業による間伐に関する内容を追記</u>
	流木対策について	第 1 回協議会	計画の中に、砂防堰堤等に関して記載してもらいたい。(市町委員)	修文	5-7 山地防災・土砂災害対策として新たに項目を作成して、 <u>砂防に関する内容を追記</u>
減災対策	防災情報の提供方法	第 1 回協議会	インターネットによる情報を見られない高齢者にとっては、インターネット以外の情報提供方法を考える必要がある。(県民委員)	反映済	6-3 浸水による被害の発生に係る情報の伝達に、防災無線や広報車等を利用した情報発信や水位情報等のデータ放送を活用した発信を記載(済)
			神河町では、2 年前の災害を契機として、CATV を活用した情報提供に取り組んでいる。今年度から水防本部が設置されて以降の雨量・水位観測情報を CATV で流す取り組みを行っている。(市町委員)	修文	6-3 浸水による被害の発生に係る情報の伝達に、 <u>神河町によるケーブルテレビによる雨量・水位観測情報の提供状況を追記</u>
総合治水を推進するにあたって必要な事項	モデル地区	第 1 回協議会	次回の会議では、できればどこか先導的なモデル事例を提示していただければと提案する。先導的なモデルがうまくいけば、取り組みはどんどん広がっていくと考える。(会長)	修文	8-5 モデル地区での取り組みとして新たに項目を作成して、 <u>先導モデル地区に関して追記</u>